

● 活動目的

- 1) 決定機関である院内感染対策委員会とその実働組織として院内感染対策チーム(ICT)の連携をよりスムーズに進め、迅速かつ柔軟に、データの集積、管理の一本化、院内感染対策防止の窓口として機能的に対処する。
- 2) 抗菌薬適正使用支援チーム(AST)による抗菌薬の選択、投与に関する診療支援を行い、抗菌薬適正使用を推進する。

● 活動状況

1. 教育活動

- 1) 院内講演会の開催(年2回)
  - 第1回「当院のSARS-COV2対応の報告」「AST活動報告」参加率:93.7%
  - 第2回「ダニ媒介感染症について」参加率:65.1%
- 2) 勉強会・講義等の開催、講師派遣
  - 勉強会:新採用者、医療クラーク
  - 講義:看護学校
  - 講師派遣:橋本産婦人科(岡山県看護協会からの依頼)

2. 院内ラウンド

- 1) 抗菌薬適正使用に向けて使用状況の確認
  - ASTミーティングの実施
- 2) 感染対策実施状況の確認
  - マスクの適切な装着状況、ゴミの分別状況、針捨てボックスの使用状況の確認

3. アウトブレイクの防止

- 1) 新型コロナウイルス対策
- 2) 耐性菌対策
  - カルバペネム耐性腸内細菌目細菌:4件(2021年度:6件)
  - (このうちカルバペネマーゼ産生菌:2件)
  - バンコマイシン耐性腸球菌:1件(2021年度:0件)
- 3) インフルエンザ
  - 職員および入院患者の発生はなし

4. サーベイランス

- 1) SSI サーベイランス(JANIS)

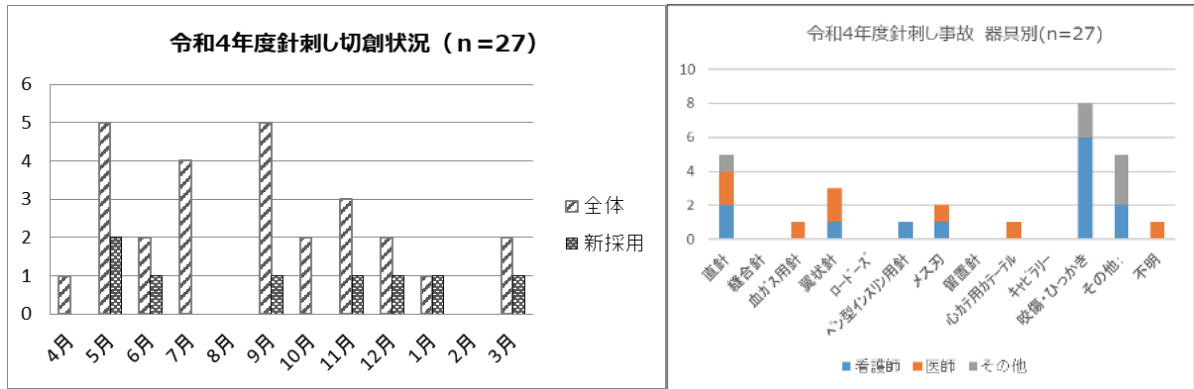
対象手術件数(2022/4/1~2023/3/31)

	RI:M	RI:0	RI:1	RI:2	RI:3
COLO	43	38	17	5	0
REC	0	18	11	0	0

感染率(%)

	RI:M	RI:0	RI:1	RI:2	RI:3
COLO	0	0	23.5	20	-
REC	-	0	0	-	-

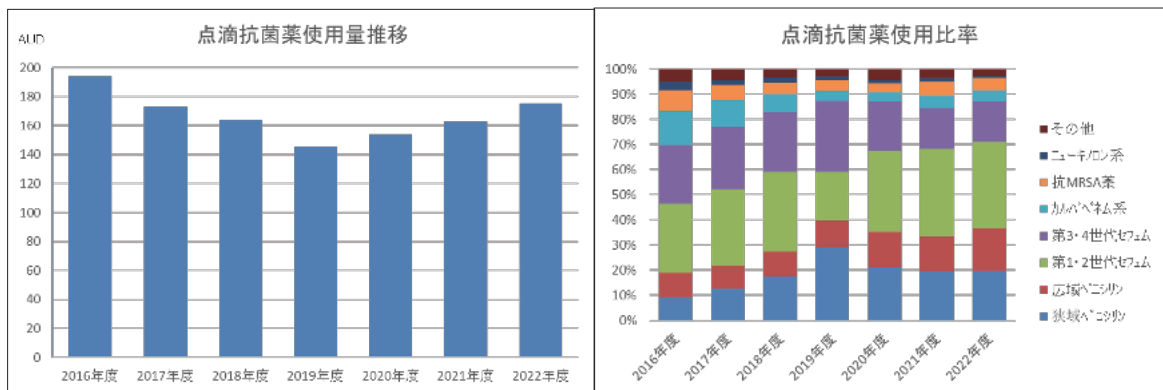
## 2) 針刺し切創サーベイランスと皮膚粘膜汚染サーベイランス



粘膜汚染はなし

## 5. 抗菌薬の適正使用

点滴抗菌薬平均 AUD(/1,000 患者日)と点滴抗菌薬比率の推移



## 6. 感染対策防止加算にかかる活動

(1) 感染対策防止加算 2・3 の連携施設(金川病院、済生会吉備病院、岡山中央病院、金田病院、太田病院)および岡山市保健所、御津医師会との合同カンファレンスの実施(全て Web 開催)

第 1 回 「耐性菌検出、抗菌薬使用量の状況」

第 2 回 「CRE(カルバペネム耐性腸内細菌目細菌)について」

第 3 回 訓練「結核患者発生時対応」

第 4 回 「耐性菌検出と抗菌薬使用量の状況」

(2) 感染対策指導加算に関わる施設訪問

済生会吉備病院、金田病院、岡山中央病院、神奈川病院

(3) 連携病院との相互訪問 (地域連携加算:年 1 回の相互訪問の実施)

12 月 2 日 川崎総合医療センターへ訪問

12 月 8 日 川崎総合医療センターから訪問